

学習指導要領		都立石神井高校 学カスタンダード
歴史 学 習 の 基 本 的 態 度	<p>ア 歴史と資料</p> <p>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p>	<p>[歴史と資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づいて歴史が叙述されており、それらの情報を総合し、歴史を組み立てることが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を理解する。
	<p>イ 歴史の解釈</p> <p>歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p>	<p>[歴史の解釈]</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な諸資料を活用し、歴史的事象の推移や変化、因果関係を考察して、諸事象の意味や意義を明らかにし、大きな歴史の展開に位置付けて理解する。
	<p>ウ 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p>	<p>[歴史の説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、それぞれの論拠となる資料や論理を比較・検証して、それぞれの歴史的解釈を筋道立てて説明することができる。
(4) 近代 日本 の 形 成 と 世界	<p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開国と幕府の明治維新までの、近代社会へと急速に発展する過程を、国内外の情勢とともに理解する。 ペリー来航の背景と、日米和親条約調印により幕府が鎖国政策から転換したことの意味を理解する。 通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響を理解する。 尊王攘夷派と公武合体派との対立の原因や主導勢力について理解する。 大政奉還が出されたあとの対抗する勢力の動きを理解する <p>[明治新政府の近代化の推進過程]</p> <ul style="list-style-type: none"> 五箇条の御誓文と五榜の掲示が出された目的について理解する。 廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などの諸改革の過程と、それによってもたらされた社会や文化への影響を理解する。

学習指導要領	都立石神井高校 学カスタンダード
<p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>[文明開化] ・文明開化が我が国の伝統的な文化を相対化する動きを伴いつつ、人々に与えた影響について理解する。 ・領土画定の経緯について、具体的な条約などを踏まえて理解する。</p> <p>[自由民権運動と立憲体制の成立] ・国民の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを理解する。 ・大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特徴について理解する。</p> <p>[条約改正] ・近代日本にとって条約改正がなぜ必要であったかを理解し、近代社会制度の整備と発展にともなって交渉が進む過程を理解する。 ・条約改正の具体的な交渉内容について理解する。</p> <p>[日清・日露戦争とその前後のアジア] ・日清戦争をめぐる国際情勢について理解する。 ・初の政党内閣の成立に対する政府・元老の具体的な対応と、その後の政治状況への影響を理解する。 ・日露戦争について、日清戦争と対比して戦争の規模、経過、国内の世論、国際的な動向などを理解する。 ・植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。</p> <p>[近代産業の発展] ・産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。</p> <p>[近代文化の特色] ・自然科学分野における主な業績について理解する。 ・代表的な啓蒙思想家について知る。 ・近代文学と明治美術界の代表的作家と作品について知る。 ・産業の発展と思想・教育・文化・市民生活に与えた</p>

学習指導要領		都立石神井高校 学カスタンダード
<p>(5) 両世界大戦期の日本と世界</p>	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <p>政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p> <p>国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p>	<p>影響について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦から第2次護憲運動までの過程を政党政治の展開と経済的変動、欧米諸国、近隣諸国との外交関係の変化について理解する。 <p>[政党政治の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民衆の政治意識が高まり、一つの政治勢力にまで成長したことを理解する。 ・民衆は排外主義にとらわれず自らの生活を優先させ、日比谷焼打ち事件と比較して民衆意識が成長したことを理解する。 ・原内閣成立の背景と意義、その政策について理解する。 ・護憲三派内閣が普通選挙法と治安維持法を抱き合わせで成立させた意味を理解する。 ・各運動に参加した国民各層にどのような政治・経済上の主張や要求があったのか理解する。 <p>[大衆社会の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市化と工業化の進展で大衆社会が形成されたことについて、教育の普及、社会問題の発生などに着目しながら、具体的な事例を挙げて理解する。 <p>[第一次世界大戦前後の対外政策の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦への日本参戦の背景と二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを理解する。 ・ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制がとられる中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。 <p>[国内の経済・社会に及ぼした影響]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦景気の背景と国内経済・社会に生じた具体的な変化を理解する。

学習指導要領	都立石神井高校 学カスタンダード
<p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p> <p>(6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>現代の日本と世界</p>	<p>[対外政策の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災手形をめぐる政府の対応と、金融恐慌から昭和恐慌へと至る過程を政府の経済政策の目的と市民生活への影響に着目しながら理解する。 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりなど、世界経済の動きを理解する。 ・昭和恐慌・満州事変から華北分離工作に至る過程を政党政治の展開と軍部・市民生活の動向との関わりに着目しながら理解する。 ・全体主義の台頭による国際関係の変化や中国などにおける民族運動の進展を理解する。 ・軍部の政治的進出、軍部主導の社会の成立過程を大衆文化・思想の変化に着目して理解する。 <p>[戦時体制の強化と第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争から第2次世界大戦に至る過程をヨーロッパ情勢に着目しながら理解する。 ・中国との戦争が長期化した背景と戦時経済体制の成立について理解する。 ・第2次世界大戦の過程について、朝鮮・中国・東南アジア諸国への影響戦争相手国の動向を踏まえて理解する。 ・軍部主導の社会が市民生活に与えた影響について理解する。 <p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合国による日本占領の特色と当初の占領方針の非軍事化と民主化の諸政策の内容を理解する。 ・占領政策の転換を東アジア情勢やアメリカの対世界政策の転換を踏まえて理解する。 ・日本国憲法制定の成立過程を整理し、その意義を理解する。 ・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の内容と特色及び日本の独立の意義について理解する。 <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合加盟と国際社会への復帰の過程を冷戦構造と国内政治の動向に着目しながら理解する。 ・多極化する国際情勢の変化がアジアに緊張をもたら

学習指導要領	都立石神井高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述</p> <p>社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>し、日本の政治・外交に大きな影響を及ぼしたことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結、グローバル化の進展など国際環境の変化などを理解し、日本が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解する。 <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財閥解体・農地改革、経済復興の過程を連合国の対日政策とのかかわりから理解する。 ・高度経済成長の過程を、政治・外交の展開に着目しながら理解する。 ・高度経済成長が可能となった歴史的・社会的条件について理解する。 ・高度経済成長にともなう科学技術の発達とともに公害の発生などの社会問題が表面化したことを理解する。 ・高度経済成長がもたらした国民生活の向上と生活様式の変容、市民の意識や価値観の変化について理解する。 <p>[歴史の論述]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめることができる。